

奈良県土砂災害対策施設整備計画 改定の概要(案)

奈良県土砂災害対策施設整備計画

- 土砂災害の課題に対し、真に対策が必要な箇所の考え方や、取り組むべきハード・ソフト対策などの方針を定めた計画(令和元年10月作成)。
- 計画策定から5年が経過し、**最新の施策取組状況** や **新たに生じた考慮すべき課題等**を踏まえ計画を改定。

主な改定内容

激甚化・頻発化する土砂災害から県民の命を守るため、『住民の命を守る行動』『命を守る備え』を支える真に必要な対策である避難所の保全対策を強化するとともに、持続可能な地域づくり・防災まちづくりの実現に向け、災害に強いまちづくりに注力する市町村への連携を強化する。

1. レッドゾーンに立地する保全対象施設の可能な限りの移転促進

□安全な避難所の確保に向け防災部局と連携し、市町村に対して土砂災害特別警戒区域(以下「レッドゾーン」という)に立地する避難所の移転を指導するとともに、令和6年度に創設した『奈良県土砂災害緊急安全確保対策促進事業(以下「移転支援事業」)』により市町村による避難所移転を支援する。

□防災まちづくりの実現に向け、市町村における居住誘導区域など、将来にわたる居住など中核を担う区域設定において可能な限りレッドゾーンを含まない計画となるよう、まちづくり部局と連携して取り組む。

2. 移転困難な保全対象施設や防災まちづくりの中核エリア保全に必要な箇所への計画的なハード対策検討

□安全な避難所確保が困難な箇所や、市町村の中核を担う区域保全に真に必要なレッドゾーンの対策について計画的なハード対策を検討する。

その他 新たに考慮すべき課題と対応方針

□気候変動に伴う土砂災害の激甚化。土砂・洪水氾濫への備え

近年、多量の土砂・流木が堆積・氾濫し広域被害が生じる土砂・洪水氾濫が頻発化。流木発生や土砂・洪水氾濫発生リスクの高い流域把握や効果的な施設整備について関係機関と連携し対策を検討する。

□防災まちづくりの実現に向けた市町村への支援・連携強化

災害リスクが増大する中、特に中山間地域では持続可能な地域づくりの取組が急務。まちづくり部局と連携し、レッドゾーンを極力避けた居住誘導区域や地域生活拠点が設定されるよう市町村への助言とともに、計画実現に不可欠なレッドゾーンについての対策を検討する。

令和6年創設 移転支援事業の概要

ハード対策に加え安全な避難場所等の確保対策を加速化する。

- 市町村によるレッド区域外への避難場所移転費用の90～95%、3000万円を上限に予算補助
 - ▶速効性のある対策として事業期間は原則2年
- 安全な避難場所の早期確保とともに様々な効果
 - ▶避難しなくなる環境整備(適切な避難行動促進)
 - ▶既存避難所が抱える課題解決(バリアフリー化・耐震改修等)
 - ▶地域コミュニティ形成・地域の賑わい創出寄与



継続して対応すべき課題と対応方針

- レッドゾーンに立地する24時間利用の要配慮者利用施設の保全対策
- レッドゾーンに立地する避難所の保全対策(市町村への指導と支援を強化)
- アンカールートなど緊急輸送道路の保全対策
- 老朽化した砂防関係施設の修繕・改築等の対策
- 崩落等の兆候が見られる箇所への対策

スケジュール

